

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 560501	訪問看護事業	主管課名	高齢福祉課						
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし		課長名	溝口 洋					
		施策	生涯健康で安心して暮らし続けられるまち								
		基本事業	在宅医療・社会復帰支援の推進								
(1)事業の概要											
かかりつけの医師の指示により、訪問看護ステーションの看護師が利用者の家庭を訪問し、本人とその介護者の希望に沿った療養上のお世話や診療補助などの看護サービスを行う。				(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)							
				名 称	単 位						
				訪問看護延べ利用者数	人						
				訪問回数	回						
				その指標							
(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		訪問看護の利用を希望する人が、訪問看護の利用申込後、医師の指示により看護師が利用者の家庭を訪問し、看護サービスを行う。									
24年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容									
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)							
病気やケガなどにより家庭で療養している状態で、医師の診察又は往診を受けている住民				名 称	単 位						
				市民病院の延べ往診受診者の人数	人						
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)				(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)							
安心して療養に専念してもらう				名 称	単 位						
				訪問看護事業に関するトラブル	件						
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)				(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)							
安心して生活を送ってもらう				名 称	単 位						
				在宅介護保険サービス利用者の割合	%						
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値			
(5)の活動指標		人	229	287	230	230	230	230			
		回	828	898	800	800	800	800			
(6)の対象指標		人	330	262	300	300	300	300			
(7)の成果指標		件	0	0	0	0	0	0			
(8)の結果の成果指標		%	78	78	78	78	78	78			
(10)予算費目		会計	07 介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)			款	02	項	01	目	01
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値			
事業費(決算又は予算額)		単位	2,910	3,135	5,652	5,684	5,718	5,754			
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	2,910	3,135	5,652	5,684	5,718	5,754			
人件費 B		千円	15,989	15,421	15,668	15,671	15,671	15,671			
正職員従事時間×人数		時間×人	1,070 × 3	1,000 × 3	1,000 × 3	1,000 × 3	1,000 × 3	1,000 × 3			
正職員以外の人件費		千円	4,150	4,150	4,397	4,400	4,400	4,400			
その他費用 C		千円									
トータルコスト A+B+C		千円	18,899	18,556	21,320	21,355	21,389	21,425			
単位あたりコスト		千円/ 人	57	71	71	71	71	71			
(トータルコスト / (6)の対象指標)		千円/									

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 560501 訪問看護事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	平成8年度 から	特に意見はない
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？	
老人保健法に基づき開始した。		
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？		
変化していない	変化している	変化した内容

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 自治事務	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 介護保険法、健康保険法等 この事務を行う根拠又は理由		
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	拡大 縮小	内容	
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	追加 拡充 絞込み	内容	
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない		理由又は内容	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない		理由又は内容 現在の成果水準を維持していくことが肝要である。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある ない	庁内事業 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性 ある ない	内容
	(8)現在の成果水準のまま事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない		内容	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない		内容	
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	現状で適正 検討が必要 受益者がいない	内容	

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど						